

# 糖尿病ワンポイントアドバイス



# 糖尿病網膜症ガイドラインについて

南星金子眼科クリニック 院長 金子

令和2年に、日本糖尿病眼学会が糖尿病網膜症 ガイドライン(第1版)を発表した。ガイドライ ンを、網膜症の内科的管理に関する部分を中心に 解説する。

#### 疫学

2011年の前向き研究である JDCS では、2型糖 尿病患者1221名の8年間での発症率は年3.83%で あった。また、同研究での軽症(国際重症度分 類)糖尿病網膜症から重症以上へと進行する頻度 は年間2.11%であった。

35か国22896名の疫学調査(2012年)では、網 膜症有病率35.4%、增殖糖尿病網膜症7.2%、糖 尿病黄斑浮腫7.5%、增殖糖尿病網膜症、糖尿病 黄斑浮腫いずれかを持つもの11.7%、日本を含む アジア地域ではそれぞれ19.9%、1.5%、5.0%、 5.3%であった。

### リスク因子

- 1. 糖尿病罹患期間が5年以上になると発症のリ スクが高くなる。
- 2. 糖尿病発症年齢が若いほうが重症化しやすい。
- 3. 早期に強力に血糖をコントロールすることで、 長期間にわたって合併症の発症・進展を抑制 できる (legacy effect, metabolic memory)。
- 4. Hbalc の目標値は7.0%未満が推奨される。
- 5. 急速な血糖コントロールは網膜症を悪化させ る。長期間にわたって血糖コントロール不良 であり、すでに網膜症が存在する症例では特 に注意が必要 (early worsening)。Early

- worsening による視力低下は50%で遷延する。
- 6. 高血圧は重要なリスク因子であり、特に収縮 期血圧を下げることが重要である。
- 7. 高脂血症は黄斑浮腫の発症に関連する可能性 がある。
- 8. 腎機能の低下はリスク因子である。
- 9. レニン・アンジオテンシン系阻害剤、脂質異 常治療薬は網膜症発症・進展を抑える可能性 がある。
- 10. 血糖・血圧の管理に加え、脂質異常、生活習 慣などの多因子介入を行ったスタディでは、 網膜症の進展を大きく抑えることができた。
- 11. 妊娠患者は1.6~2.48倍の網膜症進展リスク がある。事前に眼科で網膜症の有無を把握し、 必要に応じて光凝固などの対応を済ませてお くのが望ましい。網膜症定期管理中に妊娠が 判明した場合は、網膜症重症度に応じて診察 し、治療を行う。

#### 眼科受診の時期

- 1.1型糖尿病では、欧米では発症5年をめどに 眼科的検査を実施することが求められている。 しかし、わが国で多い成人発症1型糖尿病で はデータ不足であり、現段階では1型糖尿病 と診断された時点で眼科検査を行うことが推 奨される。
- 2.2型糖尿病では、多くの例で正確な発症時期 は特定できない。2型糖尿病診断時に約30% の症例がすでに網膜症を発症している。2型 糖尿病と診断された時点で必ず眼科検査を行

## 糖尿病ワンポイントアドバイス

うべきである。

3. 推奨される眼科診察間隔:網膜症がない場合 は年1回、単純糖尿病網膜症(Davis 分類) は6か月に1回、前増殖糖尿病網膜症は2か 月に1回、増殖糖尿病網膜症は1か月に1回。 血糖コントロールが悪い場合や、黄斑浮腫の 合併などではさらに頻回の検査が必要になる。

ガイドラインの前文に、「糖尿病網膜症の診療 における目標は、視機能障害を予防し、傷害され

た視機能を可能な限り回復させることである。そ のために、検査結果に基づく早期の糖尿病網膜症 の診断と、適切な時期における治療介入が不可欠 である。また、糖尿病があれば視力障害のリスク があるという疫学調査の結果を糖尿病患者に啓発 することも重要である。そして、内科と連携し、 糖尿病と診断された患者は速やかに眼科を受診し、 定期検査を受けることが大切であることを啓発す る。」とあります。この文章を肝に銘じたいと思 います。

# 富山県医師会第5回産業保健研修会(スキルアップ)

標記研修会を次のとおり開催します。受講希望者は県医師会 HP ※2または下記 QR コードよりア クセスし、google フォームよりお申込みください。

※1. 受講定員制のため、事前申込者のみとして当日参加は不可とさせていただきます。

※2. 県医師会 HP のトップページより「産業保健研修会開催情報」バナーを選択して開催日日程欄 の「お申込みはこちら」を選び入力フォームに進んでください。

【QR コード】 **I** 

9月12日(火) 19:30~21:00 日 時

場 所 富山県医師会館 1階ホール

「職場のメンタルヘルス」 演

木戸クリニック院長

木 戸 日出喜 先生 富山産業保健総合支援センター相談員

取得単位 日本医師会認定産業医学研修(基礎/後期1.5単位 又は 生涯/専門1.5単位)

日本医師会生涯教育講座 70CC /1.5

受講定員 100名※お申込み順にて受講定員に達した時点で受付終了とさせていただきますのでご

了承ください。

受講料 県医師会員:無料 県内施設所属の非医師会員:1,000円

県外施設所属の非医師会員:3,000円

主 催 富山県医師会